

浪江のさくら'25.3月：3／30(日)

1. 請戸小学校（流れ着いたサクラおよびイオン植栽の玉夢桜のその後）
2. 大平山霊園（宇宙桜）
3. 丈六公園
4. 請戸川リバーライン（権現堂～道の駅周辺）
5. 殿様桜
6. 津島小学校（中学校）

* 「絆さくらの会」 小黒会長とともに



殿様桜では、胴吹きของサクラが開花していた
「幹から出る蕾は4, 5日早く咲く」と小林氏より
このことから全体は4／3～4に開花か？

2025/03/30 08:05

1. 請戸小学校（流れ着いたサクラおよびイオン植栽の玉夢桜のその後）



剪定を行った跡（？）

植栽に用いられている土壌はわからないが、全体に状態は良くない印象（施肥や土壌改良が必要か？）

右は「ジンダイアケボノ」

まだ葉芽ではあるが付いており、生きてはいる





一部、盛り土・管理がなされた様子
グランド跡地であることから、
腐食に乏しい土壌と考えられ、
腐葉土の施与を薦めたい。
(同時に施肥も)



「玉夢桜」植栽から一年と五ヶ月ほど（4本？）2023年11月19日植樹

まだまだ樹が若い印象ではあるが、しっかり芽は動き出しており、大きく膨らんだ芽も観られた。夏季の肥培管理でまだまだ良くなるものと思われた。

* 吉田町長も参加されてたのですね

請戸小学校に流れ着いた（？）サクラ



花芽のつきが良く、多くが
しっかり動き出している印象
開花がみられるものと期待さ
れる・・・品種はなんでしょ
うか？

他の箇所のサクラ花芽に比
べて少し進行が遅い印象
海風の影響か？



2. 大平山霊園（宇宙桜）



日本三大桜の一つ「山高神代桜」の種子由来ということで、種子親♀はエドヒガン
花粉親が不明であるため、いわゆる雑種か、広義のエドヒガン（エドヒガン同士の交配）と考え
られる（2024.6月報告より）。
海に近い場所でありながら、もうかなり蕾は膨らみ、赤みを呈していた。
枝振り、花芽のつきの様子から、樹の状態は良好と判断される。開花も早そうですね。

3. 丈六公園

12月に植栽した苗木の状態、および展望箇所の子ダレザクラを視察



植栽した苗木は全て、生存していた。冬期間それ程気になる乾燥はなく、適度に雨があった（小黒会長より）とのことで、これが幸いしたもの。
以降は、やはり、土壌改良に繋がる腐葉土の施与や施肥をすることで、状態が良くなってゆくものと考えられる。

展望箇所のシダレザクラ



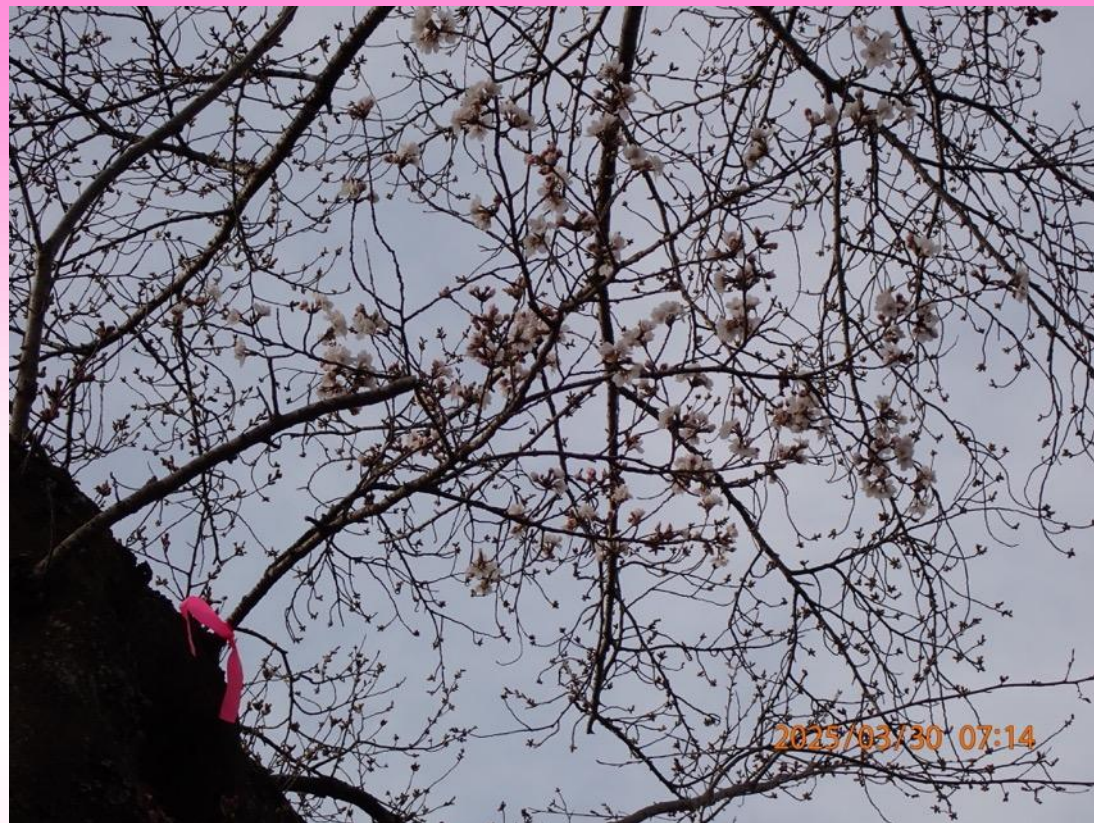
元々植栽されていたシダレザクラは、状態は依然良くはないものの、生存、これからの管理で好転に期待。

奥の針葉樹（スギ？）が伐採されたことで、展望景観は良くなっていた。

新たに植えられたシダレザクラでは、開花がみられた。浪江では、シダレザクラが早く咲く傾向があるよう。

（弘前では、あまりそういった印象はありません）

4. 請戸川リバーライン（権現堂～道の駅周辺） 見出されていた「早咲きのサクラ」をまず視察



胴吹きから派生した枝変わり（＝（体細胞）突然変異）では？と考えられた。

今後に向けて、挿し木や接ぎ木で増やすために「当該枝」をより大きく伸ばすための管理＝上の枝を剪定・除去し、光環境を好転化させる。それによって枝のボリュームを大きくし、それから頃合いをみて穂木を採種～増殖へとしては（小黑会長と協議）。



Before ⇔ After のイメージ！ これからの「開花」が楽しみです。
管理はこれからも。



全体に権現堂周辺、状態は良さそうですね。



2025/03/30 07:21



* 上方に高く伸びている枝を「てんぐ巣」とともに丸ごと強剪定し、樹高を低くしてゆく、またそれによって拡がりをもつ下枝に光をあて、状態を良くしてゆく＝枝の状態を良くし花芽を多くつけることが出来るように
小黒会長と協議

12月に植栽した苗木の状態を視察



2025/0

*植栽は、ジンダイアケボノとシダレザクラ
交互 に



2025/03/30 07:49



*こちらがシダレザクラ
シダレザクラの方は、もう花芽が
ともにまたいずれの苗木も状態維持され生存して
いた。
以降は、同様に、土壌改良に繋がる腐葉土の施与
や施肥を



2025/03/30 07:50

5. 殿様桜



*道路端の樹では、胴吹きの子桜が開花
花芽蕾はかなり膨らみ、やはり、他より少し
早い印象



*「3本」は、
① 道路端
② 奥
③ 真ん中
の順で、開花して
ゆくものと
今回花芽をみた印
象では「エドヒガ
ン」とも異なる印
象。開花時の特
徴・形態の確認要

6. 津島小学校（中学校）



校舎の解体は決定・時期は未定

グラウンド周辺ということで、やはり土壤環境は良くないものと、一方で日当たりは良好・・・土壤改良と肥培管理で

花芽の進行は、やはり少し標高高く山の方のためか、遅い印象

校舎体育館前の、樹齢50年程度と考えられるヤマザクラと思われる個体



樹形が、野生種本来の良い形で維持されており、開花期は見事であることが予想された。グラウンド側のソメイヨシノを残してゆくことはもちろん、このヤマザクラは画像のように整った樹形で、またソメイよりもはるかに長寿命であり人の手入れなしに維持出来るものと考えられるため、シンボル樹・象徴として大事に残していったらどうか？（2024.6月報告より）



体育館前のヤマザクラ（？）

しっかり花芽を形成していた。

是非開花（満開）状況の確認を！





+室原（町長宅近く）の
「シダレザクラ」
やはり開花早いそうですね

以上が、私、本多からの報告となります。

今回、3月の画像を共有クラウドにアップロードしています：
「浪江さくら'25.3月」

お手すきの際に、是非ご覧下さい

<https://cloud.hirosaki-u.ac.jp/index.php/s/h5bXHlq3uHrIgn>